別添2

2019年○○月○○日

**研究開発成果の事業化計画書**

※企業ごとに作成し、企業間で連携して共に実用化・事業化を進める場合には、役割分担を明確化した上で一つにまとめて作成しても構いません。

※大学等のみで提案する場合においても作成し、提案機関で一つにまとめて作成してください。

株式会社○○○○○○

1. 実用化・事業化を行う製品・サービス等の概要

　ここでいう実用化・事業化とは、当該研究開発に係る成果が、研究開発項目①の各研究開発テーマを基とした製品・サービスに活用されること、さらには、広く社会に普及展開が図られることを意味します。どのように研究開発の成果を、研究開発項目①の4つの研究開発テーマそれぞれに適用していくか等について、記載してください。

1. テーマA関連
2. テーマB関連
3. テーマC関連
4. テーマD関連

2. 実用化・事業化への取組

1. 実用化・事業化に向けた計画等  
   プロジェクト期間終了後5年間までの実用化・事業化を目指し実施する開発計画等を記載してください。

また、当該委託研究で行われる内容以外で実用化・事業化のために必要な研究開発等がある場合はそれらも併せて記載願います。

1. 実用化・事業化を考えるに至った経緯（動機）

どの様な背景で、当該研究開発に係る成果が、研究開発項目①の各研究開発テーマを基とした製品・サービスに活用され、さらには、広く社会に普及展開が図られると考えるに至ったのかを記載してください。

1. 事業として成功すると考える理由

事業の新規性、独創性、他との競争力、実用化・事業化までに想定される課題とその解決方法などを具体的に記載してください。

1. 実用化・事業化計画に対する申請者内におけるコミットメントの状況

企業の場合においては、実用化・事業化計画について申請者内の販売部門など関連する事業部の責任者等との現時点でのコミットメント状況について記載してください。

また、大学等の場合においては、技術移転部門等の部署や製品化・サービス提供を担う企業等との連携体制の構築状況や、これまでの実績に鑑みた連携体制の構築の可能性について記載してください。

1. 実用化・事業化のスケジュール

(1)「実用化・事業化に向けた計画等」で記述した内容を踏まえ、プロジェクト期間終了後5年間の想定される実用化・事業化計画について、段階を区分して線表、矢印、記号等を用いて記載してください。

（記載例）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 |
| テーマA関連  ▲標準化検討委員会の立ち上げ  ▲標準化提案  ▲生産開始  ▲事業会社へライセンス  ▲サンプル出荷 | | | | | |
| ○○の製品化  標準化の取組 |  |  |  |  |  |
| テーマB関連  ▲○○○○○  ▲○○○○○  ▲○○○○○ | | | | | |
| ○○○○○○  ○○○○○○ |  | ▲○○○○○  ▲○○○○○ | ▲○○○○○  ▲○○○○○ |  |  |
| テーマC関連  ▲○○○○○ | | | | | |
| ○○○○○○  ○○○○○○  ○○○○○○ |  |  | ▲○○○○○  ▲○○○○○ | ▲○○○○○ | ▲○○○○○ |
| テーマD関連 | | | | | |
| ○○○○○○ |  |  |  |  |  |

3.市場の動向・競争力（この項目は企業の場合のみ記載してください。）

1. 市場規模（現状と将来見通し）／産業創出効果  
   本研究開発の成果を基とする製品・サービスに関する国内と海外の想定される市場規模（百万円）を示し、その根拠を記述してください。〈現状、プロジェクト期間終了時点及びプロジェクト期間終了5年後についてそれぞれ記載願います。〉

申請者のみの市場規模にこだわらず開発した製品の市場規模として捉えてください。

また、市場における申請者のシェアの推移を見通し、その根拠を記述してください。

市場規模(国内／海外) 申請者シェア(国内／海外)

例：現状 ○○○百万円／○○○百万円 ％／　％

プロジェクト期間終了時点 ○○○百万円／○○○百万円 ％／　％

終了後1年目（2024年度） ○○○百万円／○○○百万円 ％／　％

　　終了後2年目（2025年度） ○○○百万円／○○○百万円 ％／　％

　　終了後3年目（2026年度） ○○○百万円／○○○百万円 ％／　％

　　終了後4年目（2027年度） ○○○百万円／○○○百万円 ％／　％

　　終了後5年目（2028年度） ○○○百万円／○○○百万円 ％／　％

市場規模算出の根拠：～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

シェア見通しの根拠：～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

（注）

1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とし、縦位置とすること。